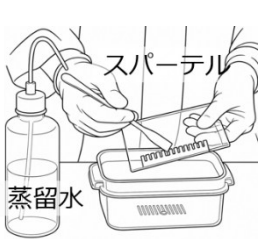
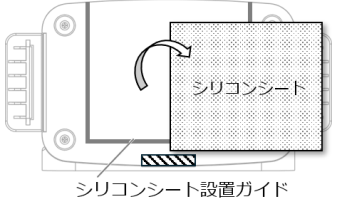


- ⑬ 泳動プレートにゲル溶液が付着している場合は、ペーパータオルで拭き取るか、蒸留水ですすぎます。重合した余剰ゲルが付着している場合は、ペーパータオルを密着させて剥がすか、スパーテルなどを用いて取り除いてください。

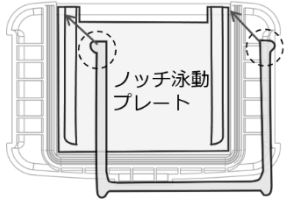


【旧型泳動プレート（MAB-10N/MAB-10）を使用する場合】

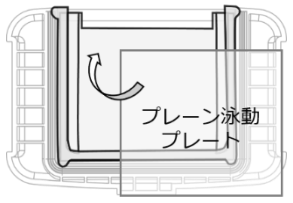
- シリコンシートを本体から取り外します。
- パッキン付きフタを、裏面を上にして置きます。
- ノッチ泳動プレートを、スパーサーが貼付されている面を表側、ノッチ部を上側にして、パッキン付きフタの上に置きます。
- シールガasketは、凸面を上に向けて泳動プレートの上に載せます。このとき、スパーサーとシールガasketが重ならないよう注意し、泳動プレート上端とシールガasket上端の位置を合わせます。
- ブレン泳動プレートを、ノッチ泳動プレートの上に位置がずれないように重ねて置きます。
- 上述の【泳動プレート（MEA-12 と MEB-02）を使用する場合】のステップ⑤以降と同様の方法で、ゲルを作製します。



シリコンシート設置ガイド



シールガasket



ブレン泳動プレート

仕様

型式・名称	WSE-1390 ミニゲル作製器 コード：2393050
泳動プレート	MEA-12 型／MEB-02 型
泳動プレートサイズ	120 mm (W) ×102 mm (L) ベース板厚：2 mm 総厚：5 mm
ゲルサイズ	90 mm (W) × 92 mm (H) × 1 mm (D)
作製可能枚数	1 枚×2 連
サンプルコウム	スマイリングレスミニコウム RM10-12N 型 12 検体(ウェル幅：3.2mm、ウェル厚：1 mm、約 30μL／ウェル)
材質	ミニゲル作製器：PC、PP、シリコン、泳動プレート：ガラス、コウム：PP
寸法・質量	190 mm (W) ×130 mm (H) ×66 mm (D) 0.61 kg（本体のみ）、0.84 kg（組立時）
構成	ミニゲル作製器（本体、パッキン付きフタ 2 枚）1 台 泳動プレート（MEA-12／MEB-02 型）2 セット コウム（RM10-12N 型） 2 枚 シリコンシート 2 枚 取扱説明書 1 部

保守

洗浄方法

ゲル作製器

ゲル作製器本体、パッキン付きフタ、シリコンシートは、ゲルが乾燥する前に、水道水でゲル片などを十分にすすぐ、または浸漬してください。その後、やわらかいスポンジに中性洗剤をつけて洗浄し、水洗い後、自然乾燥させてください。

なお、金属たわしや金属繊維を含むスポンジなどの研磨性のある器具は使用しないでください。作製器表面に傷がつき、ゲル作製時の視認性が低下する原因となります。また、強アルカリやメタノールなど一部のアルコール、塩素系溶剤、アセトンなどの有機溶媒との接触、および高温での乾燥は、ひび割れ、変形、または変色の原因となりますので避けてください。

パッキン付きフタのシリコンパッキンは、取り外して洗浄することができます。ゲル溶液が付着したまま放置すると、シリコンパッキンと溝の間にゲルが固化して詰まったり、シリコンパッキンが硬化したりする原因となりますので、ご注意ください。

また、このような状態で使用すると、ゲル溶液が漏れるおそれがあります。使用後は速やかに洗浄し、十分に乾燥させてから保管してください。

泳動プレート・コウム

使用した泳動プレート・コウムは、乾燥する前に水道水でゲルの破片などをすすぎ（もしくは浸漬）やわらかいスポンジに中性洗剤をつけて洗浄し、自然乾燥させてください。アセトン、アルコールなどの有機溶媒に接触させたり、高温で乾燥させたりすると、ひび割れや変形・変色を生じる原因となります。

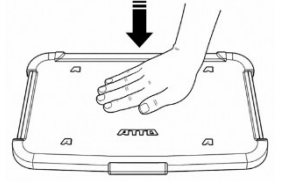
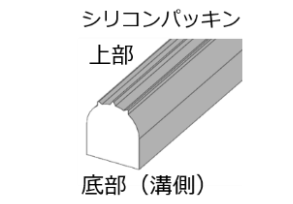
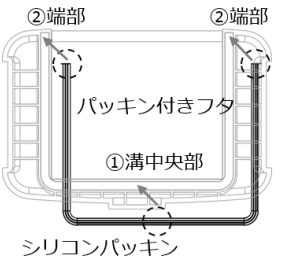
保管方法

直射日光の当たる場所、高温となる場所、および腐食性ガスにさらされるおそれのある場所で保管しないでください。

ゲル作製器は、パッキン付きフタを本体にヒンジで固定しない状態で保管してください。フタを固定したまま保管すると、シリコンパッキンの弾性が低下し、ゲル作製時にゲル溶液が漏れる原因となるおそれがあります。

シリコンパッキンのセット方法

- シリコンパッキンの底部が下側になるように向きを確認し、シリコンパッキン中央部をパッキン付きフタ下部の溝中央部にはめ込みます。
- 溝の中央部から両端に向かって、シリコンパッキンを引っ張らないよう注意しながら、上から押し込むようにして残りの部分を溝にはめ込みます。このとき、シリコンパッキンにねじれが生じないように注意してください。
- パッキン付きフタの表側から、シリコンパッキンが正しく装着されていることを確認します。ねじれや浮きがある場合は、スパーテルなどを使用して溝に押し込み、正しく装着してください。
- 最後に、シリコンパッキンを下側にした状態で、パッキン全体が溝に確実にハマるよう、上から手で押さえます。



点検方法

保管後に本製品を使用する際は、本取扱説明書をお読みいただくとともに、以下の点検を行ってください。点検時に異常が認められた場合は、本製品を使用せず、弊社までご連絡ください。

ゲル溶液の液漏れや、通常の手順どおりに準備したにもかかわらずゲル溶液が著しく不足するなどの問題が発生した場合は、以下の手順で確認してください。

- シリコンパッキンが外れていたり、ねじれた状態で装着されていないか確認してください。異常がある場合は、シリコンパッキンを正しく装着してください。
- シリコンパッキン下側のカーブしている部分に深いしわがある場合や幅が狭い場合は、いったん取り外し、再度装着してください。
- 本取扱説明書に記載されている手順どおりにゲル作製器を組み立て、純水を上端から 0.5～1 cm 下まで注ぎ、約 1 時間静置してください。
- 水漏れがないことを確認してください。

以上の確認を行っても、水漏れが解消されない場合は、弊社までご連絡ください。

保証

保証規定および保証期間に関しては、製品に添付された保証書をご参照ください。

関連製品

コード	型式	品名
2393955	WSE-1395	多連ミニゲル作製器
2398401	MEA-12	泳動プレート（2 枚組） ※ノッチ側です
2398403	MEB-02	泳動プレート（2 枚組） ※ブレン側です
2398405	RMN-15	ミニゲル用泳動プレートセット
2398350	RM10-12N	スマイリングレスミニコウム 12 検体 2 枚組(黄)
2398352	RM10-14N	スマイリングレスミニコウム 14 検体 2 枚組(グレー)
2398354	RM10-18N	スマイリングレスミニコウム 18 検体 2 枚組(赤)
2398357	RM10-21N	スマイリングレスミニコウム 21 検体 2 枚組(ピンク)
2393054	-	シリコンシート(WSE-1390 用)2 枚組
2393057	-	シリコンパッキン(WSE-1390/1395 用) 2 本組
2321940	WSE-1300	ミニゲル電気泳動槽
2321942	WSE-1300W	ミニゲル電気泳動槽（作製器付）
2321690	WSE-1350	パジェラン Neo
2321692	WSE-1350W	パジェラン Neo（作製器付）

トラブルシューティング

症状	対処法
重合中にゲル溶液が漏れる	ゲル作製器が正しく組み立てられていない可能性があります。泳動プレートおよびシリコンシートが、ずれや浮きのない状態で作製器内の所定の位置にセットされていることを確認してください。また、ヒンジが確実に固定され、泳動プレートが均等に密着していることを確認してください。 シリコンシートや泳動プレートにずれがある場合は、一度取り外し、位置や向きを確認した上で、再度正しく組み立ててください。 ヒンジが正しく固定されていない場合は、一度ヒンジを解除し、泳動プレートやシリコンシートの位置を確認してから、ヒンジを確実に固定し直してください。
シリコンシートが設置しにくい	シリコンシートの表面には粘着性があるため、消毒用エタノールまたは蒸留水で本体の接触面を濡らし、シリコンシートが強く密着しない状態にしてください。その後、シリコンシートを滑らせながら位置を調整し、設置してください。 設置後、本体を立てることで、余分な消毒用エタノールまたは蒸留水を除去できます。ペーパータオルなどで軽く拭いてください。 使用量の目安は、消毒用エタノールの場合は約 1 mL、蒸留水の場合は約 10 mL です。
シリコンパッキンのねじれ、しわ	シリコンパッキンを取り外し、ねじれ、しわがないように正しく装着してください。 浮いている部分がある場合は、スパーテルなどを使用して溝に押し込み、正しく装着してください。
ゲル溶液が漏れる シリコンパッキンが装着しにくい	「点検方法」の手順に従って、水漏れの有無を確認してください。点検後も水漏れが改善しない場合は、シリコンパッキンが劣化している可能性があります。新しいシリコンパッキンをご購入いただくため、弊社までご連絡ください。
濃縮ゲルが短い	使用した泳動プレートが、本装置に適合していない可能性があります。本装置では、「MEA-12 と MEB-02」、または「MAB-10N と MB-00」、「MAB-10 と MB-00」の組合せ以外の泳動プレート（既製ゲル用泳動プレートを含む）は使用できません。

症状	対処法
	ん。適合する組合せをご確認の上、ご使用ください。
ウェルが浅い	濃縮ゲル溶液が不足している可能性があります。泳動プレートの上端まで濃縮ゲル溶液を注いでください。
ウェルが浅い	濃縮ゲルが十分に重合していない可能性があります。重合開始剤（APS、TEMED）を新たに調製し直す、ゲル上部をプラスチックラップで覆うなど、重合しやすい環境にしてください。
泳動プレートをセットした際に、大きな隙間が生じる	作製器本体にシリコンシートが装着されていない可能性があります。「MEA-12 と MEB-02」の組合せの泳動プレート（総厚 5mm）を使用する場合は、必ずシリコンシートを装着し、本体に表示されているシリコンシート設置ガイドラインの内側に収まるように配置してください。
ヒンジがとまらない	「MAB-10 と MB-00」または「MAB-10N と MB-00」の組合せの泳動プレート（総厚 7mm）を使用する場合は、作製器本体からシリコンシートを取り外してください。 ヒンジが劣化している可能性があります。直ちに本製品の使用を中止し、恐れ入りますが弊社までご連絡ください。
スパーサー部分にゲルが出る	シリコンシートが、本体のシリコンシート設置ガイドラインからはみ出している可能性があります。シリコンシートが設置ガイドラインの内側に収まるように配置し、本体に軽く密着させてください。 ブレン泳動プレートとノッチ泳動プレートが、平行かつ密着した状態でセットされていない可能性があります。泳動プレートやシリコンシートなどにずれがなく、作製器内に正しくセットされていること、およびヒンジが確実に固定されていることを確認してください。

お客様窓口

受付時間：AM9：00 ～ PM5：30（平日）

アトー株式会社 本社 顧客部
〒111-0041 東京都台東区元浅草 3 丁目 2 番 2 号
TEL (03) 5827 - 4861
FAX (03) 5827 - 6647
URL <https://www.atto.co.jp/>

アトー株式会社 大阪支店
〒530-0044 大阪府大阪市北区東天満 2 丁目 8 番 1 号
若杉センタービル別館 5 階
TEL (06) 6136 - 1421
FAX (06) 6356 - 3625

修理のときは

受付時間：AM9：00 ～ PM5：30（平日）

アトー株式会社 技術開発センター
メンテナンスサービスグループ
〒110-0016 東京都台東区台東 2 丁目 21 番 6 号
TEL (03) 5818 - 7567
FAX (03) 5818 - 7563



アトー株式会社

■東京本社 〒111-0041 東京都台東区元浅草3-2-2
☎ (03)5827-4861 ☎ (03)5827-6647
■大阪支店 〒530-0044 大阪市北区東天満2-8-1 若杉センタービル別館 5F
☎ (06)6136-1421 ☎ (06)6356-3625
■メンテナンスサービス 〒110-0016 東京都台東区台東2-21-6
☎ (03)5818-7567 ☎ (03)5818-7563

■URL <https://www.atto.co.jp/> お問い合わせ WEB会員登録の上お問い合わせフォームより